

桐生市立学校(園)における熱中症対策ガイドライン【揭示用】

◎ 桐生市立学校(園)における対応の基準 (ガイドライン:P.9・16~17)

暑さ指数(WBGT)実測値による対応の基準

環境省発表の暑さ指数等の情報を把握するとともに、活動場所で測定した暑さ指数(WBGT)実測値をもとに、原則として次のような基準で対応をお願いします。

暑さ指数(WBGT値)	対応の基準
危険 (WBGT値： 31℃以上) 運動は 原則中止	<p><授業日> 屋外・体育館での活動、部活動については原則中止。校外学習等については延期も含めて検討する。 やむを得ず活動を実施する場合は、校長(園長)の判断の下、活動時間の短縮や活動内容、活動場所の変更等に加え、適時水分・塩分補給、エアコンの効いたクールダウンできる部屋の確保など、十分な熱中症対策を講じた上で実施する。</p> <p><週休日・夏季休業中> 屋外・体育館での活動は原則中止。 ただし、大会等や大会直前の練習等については、校長(園長)等の判断の下、活動時間の短縮や活動内容、活動場所の変更等に加え、適時水分・塩分補給、クールダウンできる場所の確保など、十分な熱中症対策を講じた上で実施する。</p>
嚴重警戒 (WBGT値： 28~31℃) 激しい運動は 中止	<p><授業日> 熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走などの体温が上昇しやすい運動は避ける。状況に応じて、屋外・体育館での活動や部活動の時間短縮、活動内容の変更などの検討を行う。 10~20分おきに休憩をとり、水分・塩分を補給する。</p> <p><週休日・夏季休業中> 授業日と同様の対応を行う。</p>
警戒 (WBGT値： 25~28℃) 積極的な休憩 と水分補給	<p><授業日> 熱中症のリスクを踏まえ、積極的に休憩をとり、適宜、水分・塩分を補給する。 激しい運動では、30分おきくらいに休憩をとる。</p> <p><週休日・夏季休業中> 授業日と同様の対応を行う。</p>
注意 (WBGT値： 21~25℃) 積極的な 水分補給	<p><授業日> 熱中症の兆候に注意するとともに、活動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。</p> <p><週休日・夏季休業中> 授業日と同様の対応を行う。</p>

熱中症警戒アラート発令時（予報値）の対応の基準

熱中症警戒アラートは、翌日の日最高暑さ指数（WBGT）を33以上と予想した日（前日）の17時頃に「第1号」を発表し、当日5時頃に「第2号」が発表されます。

また、当日の予想から日最高暑さ指数（WBGT）を33以上と予測した地域については、当日の朝5時頃に「第1号」が発表されます。

熱中症警戒アラートは、翌日に予定されている行事の開催可否、内容の変更等に関する判断、飲料水ボトルの多めの準備、冷却等の備えの参考となります。

【ケース1】熱中症警戒アラート（予報値）をもとに、前日に対応を判断・決定する。

【ケース2】当日の状況が予報と異なる場合もあるため、行事等を予定どおりに開催するか中止にするか、内容を変更して実施するか等について、当日の活動場所における暑さ指数（WBGT）実測値により、対応を判断する。

様々な状況を想定し、熱中症警戒アラートが発表された場合の具体的な対応や校長不在時の対応者等について、あらかじめ検討しておくことが重要です。

特に、週休日・祝日及び夏季休業中等の活動においては、教職員が手薄となることから、熱中症警戒アラート等の情報収集、伝達及び対応判断の手順を事前に整えておきましょう。

◇ 誰が確認するか
◇ いつ確認するか
◇ 誰に伝えるか



◇ 情報をもとに、学校運営をどうするかを決定する者
（管理職及び関係職員）
◇ これらの者が不在の場合の代理者等

★ 熱中症警戒アラートは、あくまでも予報値ですので、活動場所で測定した暑さ指数（WBGT）実測値をもとに、原則として次のような基準で対応をお願いします。

暑さ指数 (WBGT)	対応の基準
熱中症警戒アラート発令 (WBGT値： 33℃以上) 中止・延期を 検討	<p><授業日> 前日または当日朝の熱中症警戒アラート（予報値）等を参考に、屋外・体育館での活動、部活動の中止・延期を含め、活動開始時間の変更や活動時間の短縮、活動内容、活動場所の変更等を事前に検討する。 また、当日は活動場所において、暑さ指数計を用いて実測値を測定し、「暑さ指数（WBGT）実測値による対応の基準」に照らし合わせて対応する。</p> <p><週休日・夏季休業中> 練習試合等で移動を伴う場合など、活動の中止・延期について、事前の判断が必要となることもあることから、前日または当日朝の熱中症警戒アラート（予報値）を参考に、活動の実施の可否についての判断を事前に検討する。 また、当日は活動場所において、暑さ指数計を用いて実測値を測定し、「暑さ指数（WBGT）実測値による対応の基準」に照らし合わせて対応する。 ただし、大会等や大会直前の練習等については、校長（園長）等の判断の下、活動時間の短縮や活動内容、活動場所の変更等に加え、適時水分・塩分補給、クールダウンできる場所の確保など、十分な熱中症対策を講じた上で実施する。</p>